

令和3年度 福井県立大野高等学校全日制 学校関係者評価書

(問) (1) 学校評価書の成果と課題は適切ですか。 (2) 成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策は適切ですか。 (3) その他	
(意見をお聞きした方) 令和3年度福井県立大野高等学校「学校関係者評価委員」 ・PTA役員4人(会長1人、副会長3人) ・地域住民代表4人	
意見欄	
1 教育課程 学習支援	多くの教員がタブレット等のICT機器を活用した指導方法を取り入れたことで、生徒の授業満足度が高い数値を維持できたと考えられる。しかし、ICT機器を活用した授業実践の評価について、アンケートにはそれを評価できるような質問項目がない。→次回からはアンケートの質問内容を吟味する。
2 生徒支援	・部活動の指導を行わなかった教員の割合が3年連続して減少していることは評価すべきである。 ・学校行事や委員会について評価するためには、アンケートでそのことを問うべきである。→次年度は、学校行事や委員会について評価する質問項目を加えることを検討する。
3 進路支援	・「進路指導の取組に満足している」の割合が前年度と比べて若干下がっている。また、進路指導についてももう少し個別に面談等を行ってほしいという意見もあった。→生徒との面談や保護者との懇談は、進路指導においてとても大切だと考えている。次年度は、面談や懇談に今まで以上に時間をとり、より丁寧な説明を行っていききたい。また、入試システムが大幅に変更されていることもあり、先生方対象の研修を充実し、生徒・保護者によりの確なアドバイスを行えるようにしたい。
4 保健管理	・具体的取り組みのbがはじめの問題を特化している感じがする内容であり、教育相談活動という目標との一致しないところが感じられる。→教育相談や保健相談の担当などを通して、担任や学年会と連携して生徒の抱える様々な悩みなどに相談にのり、円滑に学校生活を送れるよう生徒を支援していくを行っている。1年生には1学期に個人面談を行い生徒の状況把握に努め、新たな高校生活を円滑に送れるよう努めている。また、教育相談の中で、はじめのアンケートも行っており、状況の把握や問題の未然防止、もし何か問題があった場合には他の関係部署とも協力して、早期発見、早期解決が図れるようにも努めている。具体的取り組みの内容が教育相談全般であり、その中ではじめのアンケートも実施しているという状況を理解していただけるよう検討したいと思う。
5 図書支援 保護者との 連携	・朝読書週間が読書習慣を定着させる取り組みになるように、実施方法を検討していききたい。 ・PTA活動の内容およびその情報提供についての評価がコロナ禍の影響が少なかった一昨年度と比べて増加しているのは、大高メールの積極的配信とホームページの週1回以上の更新による成果と思われる。引き続き情報発信は積極的に行っていくが、発信方法や内容については検討していく必要がある。
全体(総括)	・D-Timeを導入し、生徒の自主的な学習活動を進めたい。 ・「わたしが未来の市長」プロジェクト等の探究学習を継続し、3年間の系統的な取り組みにしていきたい。 ・各種コンテストや検定について、早めに目標を決めさせて準備させたい。 ・卒業生が誇れるような学校づくりを目指して、生徒一人一人を大切にしていきながら、本校の魅力についてしっかりと広報活動をしていきたい。
(学校関係者評価を踏まえた今後について) ・委員会での御指摘をふまえ「学校評価書」および「学校関係者評価書」を4月中旬までにホームページにアップする。 ・各分掌においてさらに検討し、次年度のスクールプランに反映させ、具体的な取組として実現できるようにしていきたい。 ・教育活動全般において、生徒・保護者および地域からさらに信頼される学校づくりを目指し、教職員一丸となって取り組むとともに、広報活動で本校の魅力をしっかりと伝えたい。	